

三中だより

令和3年度 12月号



令和3年12月17日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 14)
校長 小柴 憲一

2学期を振り返って

最も長い2学期も間もなく終業式を迎えます。

「新型コロナウイルス感染症の第5波のピークを過ぎたのかな?」という疑心暗鬼な思いで迎えた始業式、水泳学習の終了を迎え、秋らしくなってきたところで輝夕祭に向けての準備が進む中、一方で生徒会の役員選挙も実施してきました。3年生は文科系の部活動でも次々と活動を休止し、中学校卒業後の進路決定という大きな壁を乗り越え始めました。

人によって、時の経つのが速いか遅いか、感じ方が異なるようですが、保護者の皆様はいかがだったでしょうか。子どもたちにとっては、振り返ってみると「あっという間だった」と感じている子どももいると思います。

そこで、2学期の主な出来事を振り返ってみます。



〇9月2日、「ようこそ海外協力隊」として海外青年協力隊として任務に当たられた方々を招聘して、各国の諸事情などを学びました。



〇9月11日、三組では和太鼓の練習が開始されました。まず、目指すところは輝夕祭で演奏・演技を披露することです。



〇9月13日、2年生は「しらべてガッテン」コンクールとして、「上級学校調べ」の各クラス代表2名が、Google Meet を使ってオンラインで発表をしました。



〇9月13日、水泳指導も間もなく終わりです。6時間目になると秋らしい西日がプールの水面を照らし始めていました。



○9月17日、1年生にとっては初めての弁論大会。自分で課題意識をもって調べ、自分なりの解釈をして、自分の主張したいことを音声言語で聴衆に訴える、とても価値ある活動です。



○9月24日、役員選挙の公示がされ、役員候補者たちが朝の登校時に、生徒玄関で選挙活動を始めました。



○9月24日午後、臨時休業になったときを想定して、学校と自宅でオンラインの学級活動、そして簡易的な授業を行いました。子どもたちのアンケートなどからも様々な技術的な問題点も分かりました。



○10月1日、超大型でとても強い勢力の台風16号が接近してきました。幸い、進路がずれて上陸はせず、授業に支障はなかったものの、下校時には教職員が随所に立って見守りをしました。



○10月4日、2年生は校内ハローワークにお越しになれる講師の方々の職業について調べ、各班の中でタブレットで提示しながら各職業のプレゼンを行いました。



○10月5日、生徒会役員候補者の最終演説も終わり、投票を迎えました。本校では、毎年、投票箱などは区役所から借りて行っています。また、密を避けるために、学年ごとに投票場所を変えました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況の指標「都内新規感染者数の7日間移動平均」は、8月19日の4774.4人をピークとして、9月30日には257.6人にまでの減少となり、9月30日をもって緊急事態宣言は解除され、東京都・荒川区はリバウンド防止措置期間となりました。



○10月9日、東京都教育委員会のスピーキングテストが3年生対象に実施されました。今の2年生からは、この点数が都立高校入学者選抜で導入されることとなります。



○10月14日、昼休みに大地震が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。発生時は、「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」場所を探して身の安全を確保することが先決です。



○10月22日、3年生で面接練習が始まりました。今回の進路決定で面接を受ける機会がない人も、長い人生の中では必ずあります。それは、書類審査や学力検査だけでは分からないものがあるからです。



○10月23日、輝汐祭を開催しました。今年度は体育館における演奏・発表等をライブ配信で各教室で鑑賞しました。また、保護者の皆様にも配信させていただきました。



○11月5日、リバウンド防止措置期間も終わり、区の通知により「歌唱について、感染防止対策をとりながら実施すること」となり、窓全開・マスク着用で歌唱の学習が始まりました。



○11月6日、「校内ハローワーク」を開催しました。3年生の面接では「校内ハローワークで話を聞いて、自分もその道に進んでみたいと思いました」と回答する子どもが複数います。

「校内ハローワーク」を開催した11月6日には、「都内新規感染者数の7日間移動平均」は20.3人まで減少していました。5000人近くまで達していたことが嘘のようです。それでも、本校では新しい生活様式を普通の生活様式とし、万が一に備えた教育活動を行いました。



○1月15日、定期考査初日の1時間目が始まる前、誰もが一生懸命に最後の確認のための試験勉強をしていました。



○12月3日、本来なら2月に予定していた鎌倉校外学習ですが、「2月に実施できるかどうか分からない」ということで時期を変更して実施しました。

同じ轍は踏まない

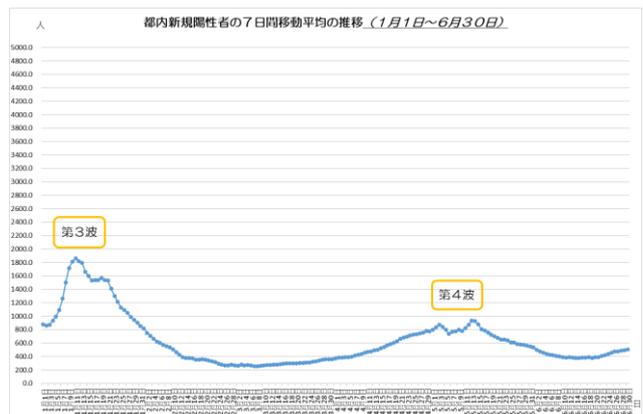
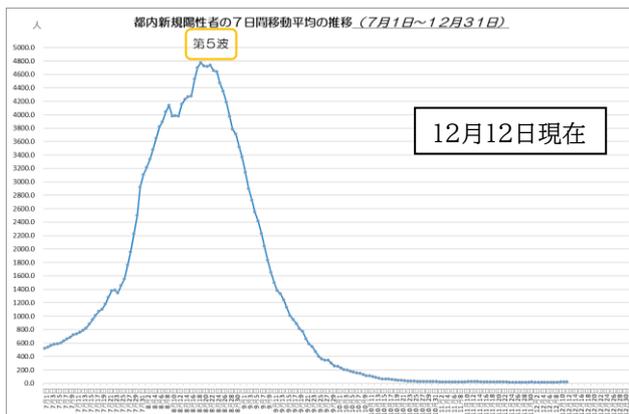
失敗は後悔することではありません。進歩するためにあるのです。

下の左のグラフは、7月1日から最近までの「都内新規感染者数の7日間移動平均」の推移で、本校ホームページで公表しているグラフから吹き出し箇所を削除して掲載したものです。第5波は急激に訪れ、そして急激に収束していったことがわかります。現在は、低い数値で横ばいになっており、下げ止まりの状況になっていると考えられます。

しかし、右のグラフは、今年の1月1日から6月30日までの同グラフですが、年末年始の人流により、正月明けに第3波を迎え、それが完全に収束しなかったために、第4波、そして左のグラフにつながって第5波を引き起こしたとも考えられます。

第5波が急激に収束していった、また現在、海外で感染が再拡大している要因は専門家からも諸説はあるものの、明確な情報は得られていません。また、新たな変異株の出現により、世界的に危機感も高まっています。そのような中、少しでも左のグラフが右肩上がりへ上昇していく傾向になれば、右のグラフに直結する状況となります。

「絶対に感染しないということはない」という前提に立ち、私たちにできる感染防止策を講じて、同じ轍は踏まないよう、十分注意した年末年始をお過ごしください。



お知らせ

- 荒川区文化祭第62回俳句展示会(中学生の部)で以下の成績を収めました。
佳作 細川 玲奈(3年) 「ひまわりが咲いてみんなの笑顔咲く」
- 第70回荒川区民体育大会「中学女子 卓球の部」で以下の成績を収めました。
第3位 伊藤 紗英佳(1年)、國近 咲希(1年)
- 令和3年度薬物乱用防止ポスター・標語の荒川区選考で以下の成績を収めました。
ポスター部門:地区会長賞(東京都推薦作品) 川上 七音(2年) 佳作 山木 日楠(1年)、宍戸 美緒(2年)
標語部門:地区会長賞(東京都推薦作品) 毛利 ありさ
「だまされないで 明るい未来が崩れてく あなたの光は薬物(それ)じゃない」

地域・保護者の皆様、本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひいたします。